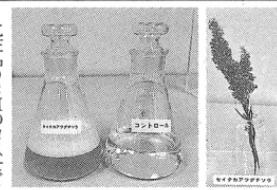


泡質改善原料を開発

コスモビューティー駆除対象の外来植物から



泡のキス、泡立ち・泡持ちを向上させる効果を確認
(写真左)。同社によれば、この泡質改善効果はエキスに含まれる天然サボニンが界面活性剤様作用をしているといふ。

う。さて、同エキスは、アミノ酸系や珪けん系洗浄剤のいずれにも効果を発揮、既存の泡質改善原料に比べて「界面活性剤様作用をしてい

う」として、同エキスを用いてシャンプーやボディソープの泡立と改善を目的とした開発と社会を結びつける」という理念に合致したもの。従来は除去対象となっていた植物を、付加価値の高いアップサイクル原料に転換す

る試みは、業界内でも独自性のあるアプローチだと考

化粧品 OEM のコスモビューティー(大阪・東京の2本社制)は、外来生物法で要注意外来生物に指定されているセイタカラワダチソウ(写真右)から、泡質改善効果を持つ化粧品原料を開発した。

セイタカラワダチソウは、他の植物の成長を妨げるなど、生態系に悪影響を与える外来種として日本国内で駆除対象となっている。同社では、昨年11月、環境保全活動を行っている地域が実施するセイタカラワダチソウの除去活動に参加。駆除したセイタカラワダチソウを活用し、アップサイクル原料としての可能性を検討、抽出したエキスが泡立ちや泡質を向上させる効果を持つことを確認した。

同社が行った試験では、精製水にセイタカラワダチソウエキス1%の配合で、

活動にも参加した同社研究部の志賀寺、田中、金崎、森口氏は、「今回の取り組みは、新規の機能性化粧品原料の開発と環境保全を両立する事例で、当社の人々と社会を結びつける」という理念に合致したもの。従来は除去対象となっていた後は、環境配慮への関心が高い海外市場に向けた提案も視野に入れている」としている。

同エキスの開発と、除去

。